

令和 4 年度

秋葉区 特色ある区づくり関連事業

上半期実績

秋葉区役所

目 次

- ① 優歩道歩いてみ隊
- ② アキハで認知症サポートネット
- ③ 「つながる」「広げる」障がい者支援
- ④ げんきに育つ親も子も～妊娠期から支え、見守る～
- ⑤ アキハ生涯げんき！～地域ぐるみでフレイル予防～
- ⑥ 持続可能なげんきな体！～12歳からのSDGs～
- ⑦ 文化遺産情報発信事業
- ⑧ アキハの宝こども探検ツアー
- ⑨ アキハスムプロジェクト Vol.3
- ⑩ 秋葉「鉄道物語」
- ⑪ わくわく石油楽習事業
- ⑫ 花まる鉢花支援事業
- ⑬ アキハウん米推進事業
- ⑭ アキハもち麦推進事業

1	事業名	[継続] 優歩道歩いてみ隊	
事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 4 年度		
区ビジョン	うるおい と やすらぎ のある まち		
事業目的	自然散策や健康づくり等に利用され、多くの区民から親しまれている新津川や能代川沿いの遊歩道、秋葉公園をより使いやすくし魅力向上を図るとともに、区民協働による環境保全に取り組む。		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・新津川遊歩道クリーン作戦 年1回 区民の参加を募り、区民と協働により、ゴミ拾いや除草作業を行う。 ・新津川や能代川沿いの遊歩道除草作業のため地域活動団体へ草刈機の貸し出し ・遊歩道の環境整備 ・新津川ほか遊歩道に案内板等の設置 		
最終 成果指標 目標	クリーン作戦・遊歩道環境整備等の区民参加者数 1200人		
R2 年度 ＜1年目＞ 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新津川遊歩道クリーン作戦 300人 ・地域活動団体への草刈機の貸し出し 50人 ・秋葉公園クリーン作戦 50人 ・新津川ほか遊歩道に案内板等の設置 		
R2 年度 ＜1年目＞ 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新津川遊歩道クリーン作戦 205人 ・地域活動団体への草刈機の貸し出し 144人 ・新津川ほか遊歩道に案内板等の設置 ・新津川水仙球根植え 165人 累計 514人 		
事業費	予算額	2,500 千円	決算額 2,500 千円
R3 年度 ＜2年目＞ 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新津川遊歩道クリーン作戦 300人 ・地域活動団体への草刈機の貸し出し 50人 ・秋葉公園クリーン作戦 50人 ・新津川ほか遊歩道に案内板等の設置 		
R3 年度 ＜2年目＞ 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新津川遊歩道クリーン作戦 285人 ・地域活動団体への草刈機の貸し出し 207人 ・新津川水仙球追肥、根植え 80人 ・秋葉公園クリーン作戦 49人 累計 621人 		
事業費	予算額	2,500 千円	決算額 2,500 千円
R4 年度 ＜3年目＞ 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新津川遊歩道クリーン作戦 300人 ・地域活動団体への草刈機の貸し出し 50人 ・秋葉公園クリーン作戦 50人 ・新津川ほか遊歩道に案内板等の設置 		
R4 年度 ＜3年目＞ 9月末 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新津川遊歩道クリーン作戦 (11/6予定) ・地域活動団体への草刈機の貸し出し 105人 ・新津川水仙球根植え (11/3予定) ・秋葉公園クリーン作戦 (11/19予定) 		
事業費	予算額	2,500 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	7,500 千円	決算合計 5,000 千円

2	事業名	[継続] アキハで認知症サポートネット	
事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 4 年度		
区ビジョン	楽しく元気なまちなかと やさしさのある まち		
事業目的	区民への認知症に関する知識の普及・啓発を行うとともに、区内の関係機関との連携をすすめ、認知症高齢者等やその家族にやさしい秋葉区を目指す。		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ①区民対象の「認知症講演会」の開催 ②認知症サポーターのスキルアップのための講座の開催 ③関係機関との認知症に関する会議の開催 ④キャラバンメイトの交流会を開催 ⑤キャラバンメイト連絡会で開催する認知症カフェの支援 		
最終 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ①認知症講演会 1回開催 ②認知症サポーターのスキルアップのための講座 1回開催 ③関係機関との認知症に関する会議 1回開催 ④キャラバンメイト（認知症サポーター養成講座の講師）の交流会 1回開催 ⑤キャラバンメイト連絡会で開催する認知症カフェの支援 		
R2 年度 <1年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ①認知症講演会 1回開催 ②認知症サポーターのスキルアップのための講座 1回開催 ③関係機関との認知症に関する会議 1回開催 ④キャラバンメイト（認知症サポーター養成講座の講師）の交流会 1回開催 ⑤キャラバンメイト連絡会で開催する認知症カフェの支援 		
R2 年度 <1年目> 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ①新潟市YouTubeチャンネルでの配信で開催 全4回、延べ再生回数926回 ②開催を断念 ③1回開催。10の関係機関が参加 ④開催を断念 ⑤9月から4回開催し、延べ42人が参加 		
事業費	予算額	550 千円	決算額 353 千円
R3 年度 <2年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ①認知症講演会 1回開催 インターネット経由での同時配信を行う ②認知症サポーターのスキルアップのための講座 1回以上開催 ③関係機関との認知症に関する会議 代表者会議1回、課題に応じた検討会を複数回開催 ④キャラバンメイト（認知症サポーター養成講座の講師）の交流会 1回開催 ⑤キャラバンメイト連絡会で開催する認知症カフェの支援 		
R3 年度 <2年目> 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ①認知症講演会 1回開催 zoom配信で後日DVD貸し出しを行う ②認知症サポーターのスキルアップ講座 コロナ感染拡大予防のため中止 ③関係機関との認知症に関する会議 代表者会議1回開催 ④キャラバンメイト交流会 コロナ感染拡大予防のため中止 ⑤認知症カフェの支援 1回開催、19人が参加 コロナ感染拡大予防のため回数減 		
事業費	予算額	650 千円	決算額 505 千円

2	事業名	[継続] アキハで認知症サポートネット	
事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 4 年度		
R4 年度 〈3年目〉 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ①認知症講演会 1回開催 インターネット経由での同時配信を行う ②認知症サポーターのスキルアップのための講座 1回以上開催 ③関係機関との認知症に関する会議 代表者会議1回, 課題に応じた検討会を複数回開催 ④キャラバンメイト(認知症サポーター養成講座の講師)の交流会 1回開催 ⑤キャラバンメイト連絡会で開催する認知症カフェの支援 		
R4 年度 〈3年目〉 9月末 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ①認知症講演会 実施内容を検討中。 ②認知症サポーターのスキルアップのための講座 実施内容を検討中。 ③関係機関との認知症に関する会議 実施内容を検討中。 ④キャラバンメイト(認知症サポーター養成講座の講師)の交流会 実施について検討中。 ⑤キャラバンメイト連絡会で開催する認知症カフェの支援 7月開催準備(コロナ禍のため中止) <p style="text-align: right;">次回11月開催について検討中。</p>		
事業費	予算額	650 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	1,850 千円	決算合計 858 千円

3	事業名	[リニューアル] 「つながる」「広げる」障がい者支援	
事業期間	令和 4 年度 ~ 令和 6 年度		
区ビジョン	楽しく元気なまちなかと やさしさのある まち		
事業目的	○障がい者理解を広げてつながることを目的とし、支援システムづくりを行う。		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・つながる支援ファイルの作成・配付 発達に支援の必要な子どもに関わる医療・保健・福祉・教育・労働などの各機関が保護者とともに必要な情報を共有するための「つながる支援ファイル」を作成・配付し、活用を図る。 ・保護者支援講座の開催 療育教室「なのはな」や経過観察事業「ポップあそびのへや」を利用している子どもの保護者を対象にNPプログラム講座を開催し、悩みや心配ごとを共有できる仲間づくりを推進することで不安感や孤立感の解消を図る。 ・障がい者理解講座の開催 市民を対象に、障がい者への理解を深め地域で支える仕組みづくりを考える機会として開催し、支援者・理解者の輪を広げる。 		
最終 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・つながる支援ファイル ・保護者支援講座 ・障がい者理解講座 	利用者（配付）数 220人 6回コースの講座を実施 年1回実施	
R4 年度 ＜1年目＞ 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・つながる支援ファイル ・保護者支援講座 ・障がい者理解講座 	利用者（配付）数 180人 6回コースの講座を実施 精神障がいについての講座を実施	
R4 年度 ＜1年目＞ 9月末 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・つながる支援ファイル ・保護者支援講座 ・障がい者理解講座 	利用者（配付）数 215人 6回コースの講座を実施予定（10/5～11/9、参加者7名） 精神障がいについての講座を実施予定（12/4）	
事業費	予算額	503 千円	決算額 千円
R5 年度 ＜2年目＞ 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・つながる支援ファイル ・保護者支援講座 ・障がい者理解講座 	利用者（配付）数 200人 6回コースの講座を実施 発達障がいについての講座を実施	
事業費	予算額	503 千円	決算額 千円
R6 年度 ＜3年目＞ 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・つながる支援ファイル ・保護者支援講座 ・障がい者理解講座 	利用者（配付）数 220人 6回コースの講座を実施 知的障がいについての講座を実施	
事業費	予算額	503 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	1,509 千円	決算合計 0 千円

4	事業名	[リニューアル] げんきに育つ親も子も ～妊娠期から支え、見守る～
事業期間	令和 4 年度 ～ 令和 6 年度	
区ビジョン	楽しく元気なまちなかと やさしさのある まち	
事業目的	妊娠期からの母子を支援する体制をつくり、各種子育て支援事業を実施することで、親も親として育つことを支え、子育ての不安感や負担感を軽減し、地域で安心して子育てできるようサポートする。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ①子育てサロン「小さな森の広場」（出張型親子の居場所、区内5か所） （小児科医、助産師、栄養士などの専門家の子育て相談会含む） ②産前産後リフレッシュ事業 <ul style="list-style-type: none"> ・パパママ銭湯 ・デイケアルーム ③子育てサポーター訪問事業 妊娠期と出産後4か月に研修を受けた子育て支援サポーター「CO_COアキハ」のメンバーが家庭訪問し、地域の子育てに関する情報や絵本を渡す。 （必要に応じて保健師や関係機関につなぐ役割もある） ④1歳のお誕生相談会 	
最終 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ①子育てサロン 区内5地区開催 ②産前産後のリフレッシュ事業の開催 ③妊娠期と産後4か月時の子育てサポーターの訪問 	
R4 年度 <1年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ①子育てサロン 区内5地区開催回数 ②産前産後のリフレッシュ事業の開催回数 ③妊娠期と産後4か月時の子育てサポーターの訪問件数 	
R4 年度 <1年目> 9月末 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ①子育てサロン 区内5地区開催回数・・・34回 ②産前産後のリフレッシュ事業の開催回数・・・18回 ③妊娠期と産後4か月時の子育てサポーターの訪問件数・・・222件（延べ） 	
事業費	予算額 4,640 千円	決算額 千円
R5 年度 <2年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ①子育てサロン 区内5地区開催回数 ②産前産後のリフレッシュ事業の開催回数 ③妊娠期と産後4か月時の子育てサポーターの訪問件数 	
事業費	予算額 4,640 千円	決算額 千円
R6 年度 <3年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ①子育てサロン 区内5地区開催回数 ②産前産後のリフレッシュ事業の開催回数 ③妊娠期と産後4か月時の子育てサポーターの訪問件数 	
事業費	予算額 4,640 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計 13,920 千円	決算合計 0 千円

5	事業名	[リニューアル] アキハで生涯げんき！～地域ぐるみでフレイル予防～			
事業期間		令和 4 年度 ～ 令和 6 年度			
区ビジョン		楽しく元気なまちなかと やさしさのある まち			
事業目的		<p>新型コロナウイルス感染対策による身体活動量の低下から、高齢者のフレイル（適切な対応をすれば健康な状態に戻れる虚弱な状態）だけでなく、子どものロコモ（運動能力の低下）が懸念される。健康的な生活習慣を身につけ日常生活の中での運動習慣の定着を目的に、身近な地域でフレイル予防やロコモ予防の実践方法の普及啓発を行い、住民が支え合いながら健康づくり活動を継続できるよう支援する。</p>			
事業概要		<p>(1) フレイル予防教室の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケア推進課事業のフレイルチェック実施後に、口腔ケア、低栄養をテーマにした2回コースの教室を3か所で実施する。 令和2年度の実施地区も含め、地域で予防の取り組みが継続できるよう支援する。 <p>(2) 各地域でのフレイル予防の普及啓発、支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域主催のイベント等で、フレイル予防の普及啓発活動を行う。 ・現在サロン等で実施しているロコモ予防運動が継続してできるよう支援 <p>(3) 幅広い世代を対象にラジオ体操や運動を普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミ協と連携して放課後児童クラブ等に定期的に出向いてラジオ体操や運動を実施し、地域で継続できるよう支援する。 <p>(4) PPKサポーター等住民サポーターのフォロー研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PPKサポーター、フレイルサポーター、運推の資質向上を図るため、研修会を実施 			
最終 成果指標 目標		<ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防事業の参加者数 1,000人 ・高齢者のフレイル予防（ロコモ予防運動、ラジオ体操などの介護予防活動）の取組団体数 新規3団体 ・子どものロコモ予防（放課後児童クラブ等での運動）の取組団体数 新規6団体 			
R4 年度 <1年目> 成果指標 目標		<ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防事業の参加者数 1,000人 ・高齢者のフレイル予防（ロコモ予防運動、ラジオ体操などの介護予防活動）の取組団体数 新規1団体 ・子どものロコモ予防（放課後児童クラブ等での運動）の取組団体数 新規2団体 			
R4 年度 <1年目> 9月末 実施状況		<p>(1) フレイル予防教室の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新津圏域及びこすど圏域で延65名参加。 <p>(2) 各地域でのフレイル予防の普及啓発、支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健師、理学療法士などによる健康教育等実施15団体 延285人 <p>(3) ラジオ体操普及 新規取組4団体</p> <p>(4) サポーターフォロー研修は10月31日開催予定</p>			
事業費		予算額	406 千円	決算額	千円

5	事業名	[リニューアル] アキハで生涯げんき！～地域ぐるみでフレイル予防～	
事業期間	令和 4 年度 ～ 令和 6 年度		
R5 年度 〈2年目〉 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防事業の参加者数 1,000人 ・高齢者のフレイル予防（ロコモ予防運動, ラジオ体操などの介護予防活動）の取組団体数 新規1団体 ・子どものロコモ予防（放課後児童クラブ等での運動）の取組団体数 新規2団体 		
事業費	予算額	406 千円	決算額 千円
R6 年度 〈3年目〉 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防事業の参加者数 1,000人 ・高齢者のフレイル予防（ロコモ予防運動, ラジオ体操などの介護予防活動）の取組団体数 新規1団体 ・子どものロコモ予防（放課後児童クラブ等での運動）の取組団体数 新規2団体 		
事業費	予算額	406	決算額 千円
事業費合計	予算合計	1218 千円	決算合計 0 千円

6	事業名	[新規] 持続可能なげんきな体! ~12歳からのSDGs~	
事業期間	令和 4 年度 ~ 令和 6 年度		
区ビジョン	楽しく元気なまちなかと やさしさのある まち		
事業目的	<p>子どものうちから自分の健康に関心を持ち、自分の生活習慣を見直し、健康的な生活習慣を身につけることを目的とする。</p> <p>子どもの生活習慣を見直すことで、保護者や祖父母の生活習慣の改善につなげ、世帯での健康度をあげ、延いては地域全体の健康増進に寄与する。</p>		
事業概要	<p>●事業概要</p> <p>(1)小学校6年生を対象に、小児生活習慣病健診を実施し、結果に応じ、個別相談会を実施。</p> <p>(2)小学校6年生とその保護者対象に、生活習慣に関する講演会を開催(運動・栄養 各1回)</p> <p>●背景</p> <p>秋葉区は市内で最も血糖の有所見者の割合が高い。また、夕食後の間食習慣の割合が高い、運動習慣のない人の割合が多いなど、生活習慣の見直しが必要な人が多い。親世代、祖父母世代の望ましくない生活習慣の世代間連鎖を断ち切り、子どものころから健康的な生活習慣を身につけていくことが必要である。</p>		
最終 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・受診率25%を達成する (参考:教育委員会の実施する生活習慣病健診の受診率は12%程度) 		
R4 年度 <1年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・受診率15%を達成 ・講演会の参加者 60組 (区内小学校6年生の約1割) 		
R4 年度 <1年目> 9月末 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアドック(生活習慣病健診) 8月1日開催 受診者数 48名(受診率 7.1%) ・からだづくり講座(新潟薬科大学と共催) 8月27日開催 受講者数 親子14組27人 		
事業費	予算額	960 千円	決算額 千円
R5 年度 <2年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・受診率15%を達成 ・講演会の参加者 60組 (区内小学校6年生の約1割) 		
事業費	予算額	960 千円	決算額 千円
R6 年度 <3年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・受診率20%を達成 ・講演会の参加者 60組 (区内小学校6年生の約1割) 		
事業費	予算額	1,160 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	3,080 千円	決算合計 0 千円

7	事業名	[継続] 文化遺産情報発信事業	
事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 4 年度		
区ビジョン	歴史と個性を活かす まち		
事業目的	秋葉区の歴史や文化遺産に対する市民の理解を深めるため、区内の文化遺産の情報を区内外へ発信する。また、秋葉区のさらなる活性化にもつながるよう、それらの魅力を活用する。		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ① 既存「秋葉区文化財マップ」を基に、より入門的な内容のリーフレットとなるよう市民参加のワークショップを開催し、その成果を踏まえて新規リーフレットを作成・配布 ② 既存「秋葉区文化財マップ」の改訂・増刷・配布 ③ 史跡「新津油田金津鋳場跡」案内リーフレットの新規作成・配布 ④ 石油の里公園の案内板に史跡表記を追加 ⑤ 秋葉区ホームページにおける関連情報の更新 ⑥ ①・③を活用した見学イベントの開催 		
最終 成果指標 目標	見学イベント参加者数 100人以上		
R2 年度 <1年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡「新津油田金津鋳場跡」案内リーフレットの新規作成・配布 ・既存「秋葉区文化財マップ」の改訂・増刷・配布 ・石油の里公園の案内板に史跡表記を追加 ・秋葉区ホームページにおける関連情報の更新 		
R2 年度 <1年目> 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ①劣化していた市指定文化財「煮坪」の説明板を改修した。また、板面に2次元コードを表示し、関連情報が掲載された市ホームページへリンク付けた。 ②史跡「新津油田金津鋳場跡」案内リーフレット5千部を新規に作成し、市内公共施設等に配付した。 ③石油の里公園の既設案内板に史跡「新津油田金津鋳場跡」の表示を追加した。 ④既存「秋葉区文化財マップ」改訂の準備を進めた。 		
事業費	予算額	520 千円	決算額 224 千円
R3 年度 <2年目> 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・既存「秋葉区文化財マップ」を基に、より入門的な内容のリーフレットとなるよう市民参加のワークショップを開催 ・既存マップ等の増刷・配布 ・秋葉区ホームページにおける関連情報の更新 		
R3 年度 <2年目> 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・R3年度は市民参加のワークショップを6回開催し、延べ45名が参加した。R4年度は9月以降、ワークショップを開催予定。 ・アキハスMFacebookにおいて関連情報を更新した。 ・史跡「新津油田金津鋳場跡」案内リーフレットを改訂し3千部を印刷した。 		
事業費	予算額	1,000 千円	決算額 750 千円

7	事業名	[継続] 文化遺産情報発信事業	
事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 4 年度		
R4 年度 〈3年目〉 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ワークショップの成果を踏まえた新規リーフレットの作成・配布 ・既存マップ等の増刷・配布 ・これまでの成果物を活用した見学イベントの開催 ・秋葉区ホームページにおける関連情報の更新 		
R4 年度 〈3年目〉 9月末 実施状況	<p>R3年度に引き続き、秋葉区内の文化遺産の魅力を効果的かつ継続的に発信できるような人材を育成するため、市民参加によるワークショップを実施することとなり、9月21日に第1回を開催した。 また、アキハスムFacebookにおいて関連情報を発信した。</p>		
事業費	予算額	1,400 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	2,920 千円	決算合計 974 千円

8	事業名	[継続] アキハの宝こども探検ツアー	
事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 4 年度		
区ビジョン	歴史と個性を活かす まち		
事業目的	秋葉区独自の宝（個性）を地域や団体と連携し、子どもたちの発見、体験の場として活用することにより、子どもたちのふるさとへの愛着と誇りを醸成する。		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆対象 小学生を対象 ◆内容 <ul style="list-style-type: none"> 「チャレンジ!あきは体験隊」 ※地域と連携して歴史や文化を体験 各地区の施設見学、まち歩き体験など 「あきはっ子里山体験隊」 ※里山を舞台に自然・歴史・文化を体験 自然観察、古代生活体験、産業遺産の見学など 「秋葉教育懇談会」 区内教育関係者等を対象にして区の個性を活かした子どもの教育環境について外部講師を交え、意見交換を行う。 		
最終 成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ◆達成指標 2講座以上を実施 ◆目標 地域コミ協等との協働による、子どもたちの地域の歴史や文化等を学ぶ学習機会の充実 		
R2 年度 〈1年目〉 成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ◆達成指標 2講座以上を実施 ◆目標 地域コミ協等との協働による、子どもたちの地域の歴史や文化等を学ぶ学習機会の充実 		
R2 年度 〈1年目〉 実施状況	<p>【チャレンジあきは体験隊】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/10（土）9:30～11:30 ・新津駅構内と新津本町のまち歩きを実施 ・参加者 小学4～6年生 8名 （ほかにガイド3名、スタッフ等5人） <p>【あきはっ子里山体験隊】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/24（土）9:30～11:30 ・弥生の丘展示館でまが玉づくりと火おこし体験 ・参加者 小学4～6年生 16名 <p>【秋葉教育懇談会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12/1（火）14:00～16:00 		
事業費	予算額	350 千円	決算額 78 千円
R3 年度 〈2年目〉 成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ◆達成指標 2講座以上を実施 ◆目標 地域コミ協等との協働による、子どもたちの地域の歴史や文化等を学ぶ学習機会の充実 		
R3 年度 〈2年目〉 実施状況	<p>【チャレンジあきは体験隊】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8/7（土）9:30～12:00 ・小須戸町屋（薩摩屋と周辺地区）のまち歩きと凧作りを実施 ・参加者 小学4～6年生 11名 （ほかにスタッフ等8名） <p>【あきはっ子里山体験隊】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8/22（日）9:30～12:00 ・新潟県立植物園で植物採集と植物標本作りを実施 ・参加者 小学4～6年生 15名 （ほかにスタッフ等5名） <p>【秋葉教育懇談会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により中止 		
事業費	予算額	350 千円	決算額 56 千円

8	事業名	[継続] アキハの宝こども探検ツアー	
事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 4 年度		
R4 年度 〈3年目〉 成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ◆達成指標 2講座以上を実施 ◆目標 地域コミ協等との協働による、子どもたちの地域の歴史や文化等を学ぶ学習機会の充実 		
R4 年度 〈3年目〉 9月末 実施状況	<p>【チャレンジあきは体験隊】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7/23(土) 10:00~12:00 ・新潟薬科大学で牛乳からキーホルダー作成を実施 ・参加者 小学4~6年生 20名 (ほかにスタッフ等7名) <p>【あきはっ子里山体験隊】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11/6(日) 9:30~11:30 ・秋葉公園で自然と楽しむネイチャーゲームを行います。 ・参加者 小学3~6年生 20名 (ほかにスタッフ等5名) 		
事業費	予算額	195 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	895 千円	決算合計 134 千円

9	事業名	[リニューアル] アキハスムプロジェクトvol.3	
事業期間	令和 4 年度 ~ 令和 6 年度		
区ビジョン	歴史と個性を活かす まち		
事業目的	地域主体によるまちづくりを推進するため、秋葉区の特長・魅力をブランド化し発信することによるシビックプライドの醸成、市民活動に取り組む新たな人財の発掘・育成・活用、移住・定住のための仕組みづくりに取り組む。		
事業概要	<p>県外の移住希望者へ向けた移住・定住に関する継続的な情報提供と区民の地域への愛着形成を促進する。市外・県外在住者へ向けた定期的なオンライン移住相談会の開催と継続的な秋葉区の情報発信を行う。同時に、アキハスムプレーヤーなどの認証制度や活動団体を支援するためのスキームの構築を行い、区民が主体となり秋葉区へ人を呼び込む取り組みの実施や様々な広報媒体を活用した情報発信を自ら行うことで、地域に対する愛着形成と人財育成を図る。</p> <p>また、地域が教育に積極的にいかかわることで地域課題の解決の学習を通じて、児童・生徒に地域アイデンティティの醸成を図る。</p> <p>【主な事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○定期的なオンライン移住相談会 ○動画特集サイトの構築と発信 ○フォトまたは動画コンテストの実施 ○Akiha女子など自主的に活動する団体の支援と新たな人財の発掘 ○移住モデル地区（金津里山地区）支援 ○コミュニティ・スクール基盤整備 		
最終 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的なオンライン移住相談会の実施 ○フォトまたは動画コンテストの実施 ○自主的に活動する団体を支援できるプラットフォームの構築 ○コミュニティ・スクールの活性化と地域の教育力向上 		
R4 年度 〈1年目〉 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的なオンライン移住相談会の実施 ○フォトまたは動画コンテストの実施 ○自主的な活動を行う団体の支援としくみづくりの検討 ○移住モデル地区の支援 ○コミュニティ・スクール基盤整備のため講演会とワークショップの実施 		
R4 年度 〈1年目〉 9月末 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・8月に移住者座談会を開催して、ご意見や思いを拝聴し、今後予定しているオンライン移住相談会の企画へ反映させていくこととする。 ・8月31日にCS基盤整備事業「講演会」と教育懇談会「グループワーク」を同時に実施し、区内の教育関係者と地域の関係者によるコミュニティスクールへの主体的な関わりを促すともに関係者のネットワークづくりを行った。 ・Akihaきらきらプロジェクトでは、新たなメンバーを募集し人財発掘することでプロジェクトの活動活性化を図ることを確認した。 		
事業費	予算額	2,910 千円	決算額 千円
R5 年度 〈2年目〉 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的なオンライン移住相談会の実施 ○フォトまたは動画コンテストの実施 ○自主的な活動を行う団体の支援とプラットフォームの構築と運用 ○移住モデル地区の支援 ○コミュニティ・スクール基盤整備のため講演会とワークショップの実施 		
事業費	予算額	2,910 千円	決算額 千円

9	事業名	[リニューアル] アキハスムプロジェクトvol.3	
事業期間	令和 4 年度 ~ 令和 6 年度		
R6 年度 〈3年目〉 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的なオンライン移住相談会の実施 ○フォトまたは動画コンテストの実施 ○自主的な活動を行う団体の支援とプラットフォームの運用 ○コミュニティ・スクール基盤整備のため講演会とワークショップの実施 		
事業費	予算額	2,910 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	8,730 千円	決算合計 0 千円

10	事業名	[継続] 秋葉「鉄道物語」
事業期間	令和 3 年度 ~ 令和 5 年度	
区ビジョン	歴史と個性を活かす まち	
事業目的	<p>これまでに培った新津の鉄道に関する施設・歴史・人材などの地域資源を、商店街・地域住民・子ども達とともに活用し、「鉄道の街」への愛着と誇りを育むとともに、「鉄道」を基軸に街づくりに取り組み地域との連携を図り、さらなるまちなか活性化と交流人口の増加を図る。その交流の結節点でもある秋葉区の玄関口、JR新津駅を訪れた方々に秋葉区の情報を届けながら再訪の縁を探る。区内の情報発信・観光案内に携わる企業体の現出を図る。</p>	
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 「にいつ鉄道商店街」(商店街への誘客、交流人口拡大) 2 JR東日本(株)との共催事業(にいつ鉄道フェスタなど) 3 阿賀・会津等との観光連携(東北DC対応など) 4 あ!キハ観光案内所運営業務 	
最終 成果指標 目標	鉄道イベント来街者 3,000人 (鉄道商店街 300人、資料館共催1,000人、JR共催1,700人) 観光案内所来所者数 8,000人	
R3 年度 〈1年目〉 成果指標 目標	《目標》鉄道イベント来街者 3,000人 (鉄道商店街300人、資料館共催1,000人、JR共催1,700人) 観光案内所来所者数 8,000人	
R3 年度 〈1年目〉 実施状況	新型コロナウイルス感染症の影響により、にいつ鉄道フェスタが中止となった。そんな中、にいつ鉄道商店街によるSL発車時ホームでの物販を24回実施した。また、にいつ鉄道商店街などと連携し「TRAIN SUITE 四季島」の出迎えを9回、「SLばんえつ物語」号のお見送りを3回実施した。 新潟市補助事業を活用した「鉄ぶら抽選会」を支援し、抽選回数は3,418回となり、昨年(2,726回)比で25%増加した。 観光連携では、コロナ禍の影響で行事が中止になったが、代わりに磐越西線SL定期運行推進協議会及び阿賀野川ライン観光協会で作成し、沿線の魅力を発信した。 観光案内所の来所者数は10,765名となり、昨年(9,361人)比15%増加した。	
	3,370 千円	決算額 2,867 千円
R4 年度 〈2年目〉 成果指標 目標	《目標》鉄道イベント来街者 3,000人 (鉄道商店街300人、資料館共催1,000人、JR共催1,700人) 観光案内所来所者数 8,000人	
R4 年度 〈2年目〉 9月末 実施状況	○鉄道イベント来街者:「鉄ぶら抽選会」9月1日~(92店舗参加)抽選回数:1,000回超。 ○観光案内所来所者数:7,379人【暫定値】、レンタサイクル741回 ※いずれも9月末時点での数値 ※SLばんえつ物語号は8月3日の豪雨災害で磐越西線の鉄橋が流出し以降運行を中止。これにより商店連のホームでの物販も中止。	
	予算額 3,370 千円	決算額 1,285 千円
R5 年度 〈3年目〉 成果指標 目標	《目標》鉄道イベント来街者 3,000人 (鉄道商店街300人、資料館共催1,000人、JR共催1,700人) 観光案内所来所者数 8,000人	
事業費	予算額 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計 6,740 千円	決算合計 4,152 千円

11	事業名	[新規] わくわく石油楽習事業	
事業期間	令和 4 年度 ~ 令和 6 年度		
区ビジョン	歴史と個性を活かす まち		
事業目的	秋葉区の丘陵では、古くから石油が採掘され、それを暮らしに利用してきた。この「石油文化」について、小学生を中心に普及啓発を進め、理解を深めてもらう。		
事業概要	石油の世界館友の会、石油の世界館指定管理者と連携し、リニューアルされた石油の世界館、一の沢地層観察コース、国指定史跡新津油田金津鉱場跡の施設など現地見学を含めた講座を開催する。 あわせて一般向けについても、イベント等に合わせて開催。 (小学校とは未調整)		
最終 成果指標 目標	小学生、一般向け合計600人の参加 (3年で12校)		
R4 年度 <1年目> 成果指標 目標	150人の参加		
R4 年度 <1年目> 9月末 実施状況	秋葉区内の小学校に対して、地域資源である石油への理解を深める取り組みとして、石油の世界館友の会と連携し、10月中旬から楽習を実施します。 今年度は5校の小学校(結小学校、新関小学校、新津第一小学校、小合小学校、金津小学校の6年生251人)が参加を予定しています。		
事業費	予算額	924 千円	決算額 千円
R5 年度 <2年目> 成果指標 目標	200人の参加		
事業費	予算額	1,200 千円	決算額 千円
R6 年度 <3年目> 成果指標 目標	250人の参加		
事業費	予算額	1,300 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	3,424 千円	決算合計 0 千円

12	事業名	[新規] 花まる鉢花支援事業																																						
事業期間	令和 4 年度 ~ 令和 6 年度																																							
区ビジョン	花のまち・食のまち・育てるまち																																							
事業目的	新潟市産鉢花の安定流通に向けた流通社会実験 市内での鉢花宣伝PR 県外花きバイヤーを対象とした鉢花商談会の開催																																							
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新潟市産鉢花の安定流通に向けた流通社会実験 ・ 新日本海フェリーあざれあ号での秋葉区産アザレア展示PR ・ 卒園・入園式で秋葉区産の鉢花の展示PR ・ 新潟県花木振興協議会と新潟県花き出荷組合と連携した県外バイヤー鉢花商談会の開催 																																							
最終 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遠方市場流通量の前年対比と全体流通量の前年対比が比較において遠方の方がプラスになること ・ 鉢花商談会開催市場における出荷数量対前年比±ゼロもしくはプラス。出荷金額対前年比5%向上。 																																							
R4 年度 <1年目> 成果指標 目標	予算組替「鉢花流通安定化社会実験（3年目）」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 遠方市場流通量の前年対比と全体流通量の前年対比が比較において遠方の方がプラスになること ・ 鉢花商談会 ・ 開催市場における出荷数量対前年比±ゼロもしくはプラス。出荷金額対前年比5%向上。 																																							
R4 年度 <1年目> 9月末 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉢花商談会については、コロナウィルス感染症の第7波の影響もあり、市場での商談会を生産者団体が見合わせているため、後期は商談会ではなく市場でのアザレアのPRに努める。 ・ 遠方市場流通の前年対比については(9月末現在) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">令和3年</th> <th colspan="2">令和4年</th> <th colspan="2">前年対比</th> </tr> <tr> <th>出荷金額</th> <th>出荷ケース数</th> <th>出荷金額</th> <th>出荷ケース数</th> <th>出荷金額</th> <th>出荷ケース数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北海道</td> <td>9,921,783</td> <td>2,385</td> <td>10,980,220</td> <td>2,699</td> <td>111%</td> <td>113%</td> </tr> <tr> <td>岡山</td> <td>11,550,194</td> <td>2,879</td> <td>10,425,822</td> <td>2,514</td> <td>90%</td> <td>87%</td> </tr> <tr> <td>広島</td> <td>8,035,690</td> <td>1,820</td> <td>5,221,400</td> <td>1,233</td> <td>65%</td> <td>68%</td> </tr> </tbody> </table> <p>遠方3市場の前年比は、9月末時点で北海道が盛り返しているが、岡山、広島が事業開始後初めて前年比を下回っている。（市場全体量の前年比については、年度途中のため数値提供を受けられないため事業完了後の比較となる。）</p>							令和3年		令和4年		前年対比		出荷金額	出荷ケース数	出荷金額	出荷ケース数	出荷金額	出荷ケース数	北海道	9,921,783	2,385	10,980,220	2,699	111%	113%	岡山	11,550,194	2,879	10,425,822	2,514	90%	87%	広島	8,035,690	1,820	5,221,400	1,233	65%	68%
	令和3年		令和4年		前年対比																																			
	出荷金額	出荷ケース数	出荷金額	出荷ケース数	出荷金額	出荷ケース数																																		
北海道	9,921,783	2,385	10,980,220	2,699	111%	113%																																		
岡山	11,550,194	2,879	10,425,822	2,514	90%	87%																																		
広島	8,035,690	1,820	5,221,400	1,233	65%	68%																																		
事業費	予算額	3,890 千円			決算額	千円																																		

12	事業名	[新規] 花まる鉢花支援事業	
事業期間	令和 4 年度 ~ 令和 6 年度		
R5 年度 〈2年目〉 成果指標 目標	社会実験は予算組替 ・産地の流通販売体質強化への取り組みを実施 鉢花商談会 ・開催市場における出荷数量対前年比±ゼロもしくはプラス。出荷金額対前年比5%向上。		
事業費	予算額	3,890 千円	決算額 千円
R6 年度 〈3年目〉 成果指標 目標	社会実験は予算組替 ・産地の流通販売体質強化への取り組みを実施 鉢花商談会 ・開催市場における出荷数量対前年比±ゼロもしくはプラス。出荷金額対前年比5%向上。		
事業費	予算額	3,890 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	11,670 千円	決算合計 0 千円

13	事業名	[新規] アキハウ ^{まい} ん米推進事業	
事業期間	令和 4 年度 ~ 令和 5 年度		
区ビジョン	花のまち・食のまち・育てるまち		
事業目的	全国的に主食用米の需要減少が顕著になっている現在、水田単作地帯の当区において、秋葉区の特色を生かした米の需要喚起について取組を行う。		
事業概要	<p>食生活についての意識が定着し始める年代を持つ家族を対象に、秋葉区で行われている米作りから、米への疑問、簡単レシピの紹介、米の消費について周知を行い、消費拡大の基盤を形成する。</p> <p>(仮称) ご飯がすすむおかずレシピブックの作成</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 秋葉区内の米づくり (JA新津さつきの米作り) 2. 米のQ A (米の栄養価、健康性) 3. 簡単レシピ集 (秋葉区版ごはんが進む料理、炊き込みご飯) 4. コメの消費 (米の品種による味の比較、米の豆知識) 		
最終 成果指標 目標	周知冊子を区内市立幼稚園、小学校、中学校に配布し、配布前後で100件ほどを対象にアンケートを行い「米についての関心及び意識」の理解が進んだ回答が8割以上となることを目標とする。		
R4 年度 <1年目> 成果指標 目標	周知冊子 (レシピブックを主とした冊子の作成) を8,000部作成する。		
R4 年度 <1年目> 9月末 実施状況	新潟薬科大学教授へ周知冊子に掲載する原稿を依頼した。 食生活改善推進員及び区健康福祉課と掲載メニュー等について打合せをした。 後期は、アンケート調査、冊子作成・配布 (12月予定) を行う。		
事業費	予算額	646 千円	決算額 千円
R5 年度 <2年目> 成果指標 目標	周知冊子を区内市立幼稚園、小学校、中学校に配布し、配布前後で100件ほどを対象にアンケートを行い「米についての関心及び意識」の理解が進んだ回答が8割以上であることを確認する。		
事業費	予算額	100 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	746 千円	決算合計 0 千円

14	事業名	[継続] アキハもち麦推進事業	
事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 4 年度		
区ビジョン	生み出し活かす まち		
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業：地域の営農特性を踏まえ土地利用型作物を新たに産地化 ・ 健康：食生活の改善による健診データの改善 ・ 福祉：作物の栽培及びその加工を含めた就労先の確保 		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ もち麦の販売量・消費量の増大 ・ 農業者が安心してもち麦栽培に取り組めるよう、区内産もち麦の取り扱い店舗数の拡大や、加工品等の商品開発に対して支援を行う。 ・ また、市が進める農業の12次産業化(農福連携)の実践モデルとして取組を支援し、その取り組み内容を区内外にPRする。 		
最終 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費動向に合わせた栽培（もち麦含め10ha） ・ 区内産もち麦の取扱店舗数：20店舗 		
R2 年度 ＜1年目＞ 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ もち麦の面積：10ha ・ 区内産もち麦の取扱店舗数：15店舗 		
R2 年度 ＜1年目＞ 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ もち麦の栽培面積については10haを達成し、収穫済み。 ・ 販路拡大のためフードメッセに出展し、映像を活用しながら魅力発信などを行った。 ・ 区内産もち麦の取扱店舗数は飲食店のみならず、加工品の販売店舗および小売販売店舗を着実に伸ばし、26店舗となり成果指標を達成した。 ・ もち麦レシピブックを制作し、区内小中学校やもち麦取扱店などへ配布して、もち麦の周知とともに、消費拡大に努めた。 		
事業費	予算額	1,000 千円	決算額 988 千円
R3 年度 ＜2年目＞ 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費動向に合わせた栽培（もち麦含め10ha） ・ 区内産もち麦の取扱店舗数：18店舗 		
R3 年度 ＜2年目＞ 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ もち麦・小麦などの栽培面積（令和2年10月播種分）については10haを達成し、収穫済み。 ・ 区内のもち麦取扱店舗数は28店舗と、成果指標を達成した。 ・ 販路拡大のためフードメッセへ出展しPRした結果、新たに区外2社と取引を開始した。 ・ もち麦レシピカードを制作し、区役所やもち麦取扱店などへ配置して、もち麦の周知とともに、消費拡大に努めた。 		
事業費	予算額	1,350 千円	決算額 874 千円

14	事業名	[継続] アキハもち麦推進事業	
事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 4 年度		
R4 年度 〈3年目〉 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> 消費動向に合わせた栽培（もち麦含め10ha） 区内産もち麦の取扱店舗数：20店舗 		
R4 年度 〈3年目〉 9月末 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> もち麦・小麦などの栽培面積（令和3年10月播種分）については10haを達成し、収穫済み。 区内産もち麦の取扱店舗数は28店舗と、成果指標を達成している。 もち麦取扱店1社が、もち麦を使用したメニュー開発に取り組んでいる。 後期は、首都圏へ出向いてのPR、フードメッセへの出展や学校給食、総合学習の開催等により消費及び販路拡大を目指す。 		
事業費	予算額	1,350 千円	決算額 千円
事業費合計	予算合計	3,700 千円	決算合計 1,862 千円